

科目名	半導体物性工学		英文表記	Semiconductor Physics	2012/03/05
科目コード	6213				
教員名: 兼城 千波 技術職員名:					作成
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
創造システム工学専攻・電子通信システム工学コース	専1	選	学修	2単位	講義
科目目標	①半導体などの材料の固体物理を理解する。 ②半導体とそれを用いたデバイス構造、動作原理、電気特性について、物性的観点から理解する。				
総合評価	前期・後期評価: 定期試験(中間・期末)(80%) + レポート・輪講資料(20%) 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。				
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法	
	①	半導体などの材料の固体物理を理解する。	⇒	正しく説明できるか定期試験および課題で評価する。	
	②	半導体とそれを用いたデバイス構造、動作原理、電気特性について、物性的観点	⇒	正しく説明できるか定期試験および課題で評価する。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称
	○		◎		JABEEプログラム教育目標
					情報通信システム工学
					A-2, A-4, B-1, B-2, B-3
授業概要、方針、履修上の注意	・半導体の原理、構造、エネルギーバンドについて学ぶ。 ・授業の一部を輪講形式で行い、作成資料を評価対象とする。				
教科書・教材	電子物性(松澤剛雄他 森北出版)、配布資料、PPT				
授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		自学自習 (予習・復習)内容
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験				
16	結晶構造	2	イオン結合、共有結合、金属結合、結晶構造		先週の講義内容・問題復習
17	格子振動	2	格子振動、格子振動の量子化		先週の講義内容・問題復習
18	固体の熱的性質	2	固体比熱、アインシュタイン理論、熱伝導		先週の講義内容・問題復習
19	古典的電子伝導モデル	2	自由電子、ドリフト速度、緩和時間、移動度		先週の講義内容・問題復習
20	量子力学の基礎	2	物質の粒子性と波動性、波動方程式、トンネル効果		先週の講義内容・問題復習
21	固体のエネルギーバンド理論	2	自由電子モデル、クローニッヒ・ペニーモデル		先週の講義内容・問題復習

22	固体のエネルギーバンド理論	2	結晶内の電子運動	先週の講義内容・問題復習
23	後期中間試験(行事予定で変更可)	2		先週の講義内容・問題復習
24	半導体と金属の電気的性質	2	半導体、ダイオード、トランジスタ半島体中の電子と正	先週の講義内容・問題復習
25	固体の光学的性質	2	光の吸収と反射、光電効果、太陽電池、半導体レー	先週の講義内容・問題復習
26	誘電体	2	誘電率と分極	先週の講義内容・問題復習
27	磁性体	2	磁化率と透磁率、反磁性体、強磁性体、常磁性体	先週の講義内容・問題復習
28	超伝導体	2	超伝導現象、高温超伝導	先週の講義内容・問題復習
29	固体の量子効果	2	量子井戸、超格子	先週の講義内容・問題復習
30	まとめ	2	エネルギーバンド、量子化、電気伝導	先週の講義内容・問題復習
期末	期末試験	[2]		
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
①	レポート(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各5時間×2回
②	毎週の講義の復習			1.5時間×15回
③				
備考欄				
(共通記述) ・この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・この科目の主たる関連科目:電子回路I(3年)、電子回路II(3年)、半導体工学(3年)、集積回路(4年)、集積回路II(5年) その他必要事項は各コースで決める。				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)